

# 小学校における外国語教育の指導体制の充実

## 新学習指導要領全面実施に向けた取組

小学校外国語教育の特性を踏まえ、各学校の実態に応じて、学級担任による指導と一定の英語力を有した教員による専科指導を両輪として活かす。専科加配を効果的に活用するとともに、英語教育推進リーダーや中核教員を中心に、校内研修や授業準備等を推進。

## 中期的な方向性

小学校教員全体の外国語指導力の向上を図るとともに、専科指導を担当できる一定の英語力を有し、より質の高い英語教育を行うことができる人材の採用も計画的に進める

## 小学校の外国語教育の特性を踏まえた質の高い授業の実施

- 英語による言語活動を通じた指導
- 音声中心の学習から段階的に読むこと、書くことにも慣れ親しむ
- 中学校への円滑な接続
- 国語や我が国の文化についても理解
- 児童の不安を取り除き、失敗を恐れない雰囲気づくり
- 各教科等の学習との関連付けなど



## 小学校の外国語教育の特性を踏まえた質の高い授業の実施

- 英語による言語活動を通じた指導
- 音声中心の学習から段階的に読むこと、書くことにも慣れ親しむ
- 中学校への円滑な接続
- 国語や我が国の文化についても理解
- 児童の不安を取り除き、失敗を恐れない雰囲気づくり
- 各教科等の学習との関連付け など

# 「言語活動」とは

外国語活動や外国語科における言語活動は、記録、要約、説明、論述、話し合いといった言語活動よりは基本的なものである。学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は、「**実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う**」活動を意味する。

したがって、外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かというところではない。言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、**情報を整理しながら考えなどを形成する**といった「**思考力、判断力、表現力等**」が活用されると同時に、**英語に関する「知識及び技能」**が活用される。

「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」（2017年 文部科学省）

## 外国語 第2節英語 1目標

### (2) 読むこと

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

### (5) 書くこと

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。  
また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

### 3 指導計画の作成と内容の取扱い

#### (2) 内容の取扱い

イ 音声指導に当たっては、日本語との違いに留意しながら、発音練習などを通して2の(1)のアに示す言語材料を指導すること。また、**音声と文字とを関連付けて指導すること。**

### 3 指導計画の作成と内容の取扱い

(2) 2の容に示す事項については、次の事項に配慮するものとする。

イ 音声指導に当たっては、日本語との違いに留意しながら、発音練習などを通して2の(1)のアに示す言語材料を継続して指導するとともに、音声指導の補助として、必要に応じて発音表記を用いて指導することもできることに留意すること。また、**発音と綴りとを関連付けて指導すること。**